

祇園小学校 校長だより（第79号） 令和2年度第20号 令和3年1月15日

校訓 「高い理想 清い心 熱い想い」 文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

無病息災を祈る

新型コロナウイルス感染症の陽性者が県内・市内でも増えていきますので、毎年恒例のどんと焼きは中止しましたが、無病息災と新型コロナウイルス感染症の収束を願っています。昨年、健康や病気平癒にお利益のある諫早神社を訪ねました。神社境内を造成した際に保管してあったクスノキを活用した、高さ115cm、幅80cmの日本一大きいアマビエ様が奉納してありました。疫病（新型コロナ）が退散し、穏やかな日々が戻ることを祈ってまいりました。

履き物の整理が「心の整理」につながる

曹洞宗徳雄山建功寺住職、枡野俊明著、禅「心の大そうじ」（2011年、三笠書房）から引用します。

「足下をすくわれる」という言葉があるように、足下をしっかり固めておかないと、思わぬ困難や悩みにぶつかることがあります。禅語の「脚下照顧」（きゃっかしょうこ）は、文字どおり、足下もきちんと見なさいという意味。足下とは自分の拠って立つ場所、または、拠り所となる自分の心といってもいいでしょう。もっとも、心が整っていないければ、拠り所とはなりません。

心を整える…そのヒントは、まさに足下にあります。脱いだ履き物をきちんと揃えていますか。あちこちに脱ぎ散らかす、なんてことはいただけません。「なんだ、そんなこと？」と思うかもしれませんが、履き物が乱れていても気にならないということは、それだけ心が整っていないということです。

忙しいと、つい脱ぎっぱなしにしがちですが、「忙」とは「心を亡くす」こと。つまり、心ここにあらずで、心が整っていないことが、履き物にあらわれるのです。反対に、いつでも履き物を揃え、ふっとひと呼吸おくくらいの余裕を持っていれば、それだけで心が整ってくるから不思議です。

学校では、トイレのスリッパやくつ箱のくつが乱れていることがあります。一方、自分が脱いだスリッパだけでなく、他の人が脱ぎ散らかしたスリッパを揃えてくれる児童もいます。自分のくつだけでなく、他の人のくつを揃えてくれる児童もいます。ご家庭ではどうでしょうか…？ 大人も子どもも、履き物を整えることで心を整えていきたいものです。

祇園歴史の旅（その79）「19周年の祇園小とその時代」

これまでに学校であった今年度の主な出来事は、令和2年4月22日～5月15日新型コロナウイルス感染症対策のための休校、7月7日と7月10日大雨による休校、7月21日～31日と8月24日～28日授業日、9月7日台風接近による休校、10月26日仮設校舎（普通教室4、トイレ、倉庫）完成です。感染症や災害による被害を少なくしていく知恵と努力が今後も求められます。

また、インターネット記事によると、今年度の主な出来事は次のとおりです。令和2年4月7日安倍首相新型コロナウイルスの感染拡大を受け緊急事態宣言発令、8月28日安倍首相辞任表明、9月16日菅内閣発足、12月6日「はやぶさ2」回収カプセル地球帰還。

今回は、「まどか教室の歩み」と題して、まどか教室の歴史をご紹介します。